



# 連町通信

誰もが住みたくなる街づくりをめざして

発行  
釧路市連合町内会

釧路市黒金町8丁目2番地  
電話 0154-23-5151  
内線 1223  
FAX 0154-23-2101

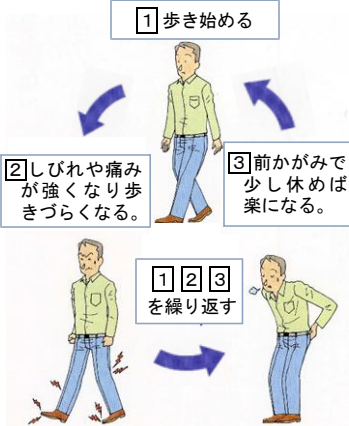
## 間欠性跛行（かんけつせいはこう）

・ ・ ・ 腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲\*手術法である腰椎制動術の紹介 ・ ・ ・

「歩くとき腰や脚が痛くなつて歩行が困難となり、休むと再び歩けるようになる」ことを間欠性跛行と言ふ。そのため、長い距離を歩くことができず、活動的な生活をするのができなくなる（散歩、買い物、ジョギング、ゴルフ等）。間欠性跛行を呈する病気としては、腰部脊柱管狭窄症や下肢閉塞性動脈硬化症が良く知られているが、私の経験では、画像では診断が困難である「腰痛を呈する殿皮神経障害（巷ではおしり神経障害と言われている）」や足底のしびれや物が付いた感じを訴える足根管症候群でも間欠性跛行を呈する。

腰部脊柱管狭窄症に対する外科的治療法としては、通常、椎弓切除術や開窓術などによる後方除圧術が行われている（すべり症を伴う場

### \*間欠性跛行とは



井須ドクターの診察室

## 第7回

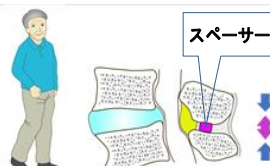


釧路労災病院  
脳神経外科部長  
井須豊彦

合には金属固定術を追加施行)。これらの手術法では、頻度は低いものの、硬膜損傷に伴う髄液漏、髄膜炎等の感染や出血、神経損傷などの重篤な合併症を併発する危険があり、患者への身体的負担が大きい。

### 腰椎制動術

椎弓や黄色靭帯の切除を行わず神経を露出しない手術法であるため、術後、神経損傷を含めた合併症はみられず患者への負担も軽い低侵襲な手術法である。手術は全身麻酔下あるいは局所麻酔下で行い、手術時間は約1時間で、術後数日で退院可能である。



### (2) 本法の適応

すべての腰部脊柱管狭窄症に対して有効ではなく間欠性跛行を呈する症例のみが手術の適応になる。

侵襲（しんしゅう）とは、「生体に傷をつけること」